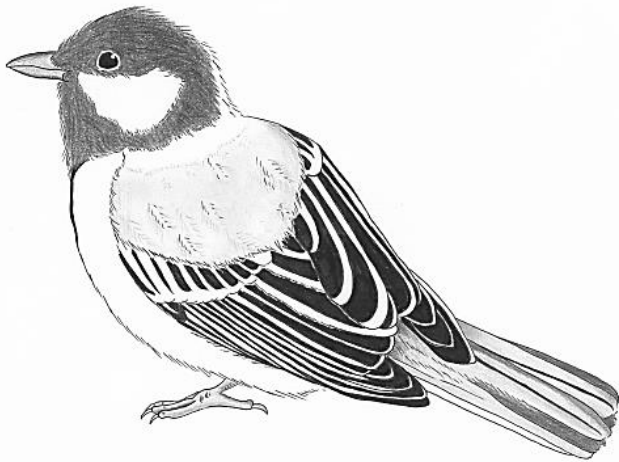




# とねり自然図鑑

動物、昆虫や花などいろいろな自然の写真を「フォトクラブメビウス」の会員方にご協力いただき、毎月発行しております。写真にちなんだ「へえ〜」という情報もお楽しみに。

【撮影した軽部さんのつぶやき】 天気の良い青空の中、桜の木の枝に止まったシジュウカラを見つめ、眺めているだけでとっても春らしい光景に感じました。



名称：シジュウカラ（四十雀）  
学名：Parus minor  
体長：約14.5cm(翼開長時は約22cm)  
体重：11-20g  
分布：日本、韓国、東アジア、ロシア  
主食：果実、種子、昆虫  
天敵：カラス、ヘビ

## 【小さい体で実は大食い】

○スズメほどの小さな体のシジュウカラですが、実は1羽が1年間で食べるシャクトリムシの数はおよそ12万5,000匹にもなります。もちろん他の虫や、果実、種子なども食べます。

たくさん虫を食べてくれるところから、シジュウカラがいてくれると手間がかからず庭造り出来るといわれています。

シジュウカラのエサとなる虫がいるということは、そこが豊かな環境であることの目安と考えられ、そのことから「町の緑地バランスが良いかどうか」のバロメーターとされる小鳥です。

## 【何十通りもある地鳴き】

○鳥の『地鳴き』とは、『さえずり』以外の鳴き声のことをいいます。『さえずり』は基本的に繁殖期にしか出すことがありませんが、『地鳴き』は1年中出されます。では、何のために2種類の鳴き声に分かれているのかというと、『さえずり』はメスを呼ぶときや自分の縄張りだと主張するときに出します。対して『地鳴き』は、個体の居場所の確認、警戒、威嚇などとして使われています。単調的な『さえずり』に対し『地鳴き』は様々な組み合わせを持ち、他の個体に向けてのシグナル的な役割を果たしています。シジュウカラはそうしてコミュニケーションを取っているのです。

―――  
『舎人図書館にある参考資料の一部を紹介↓

上田恵介 『世界のかわいい小鳥』 パイインターナショナル

叶内拓哉 『山溪ハンディ図鑑7 日本の野鳥』 山と溪谷社

海老原美夫、鈴木茂也、志村英雄、松田道生 『探鳥地図館 首都圏』 小学館

―――  
毎月集めて、舎人地域学習センター・図書館のオリジナル図鑑をつくろう！